

作業開始前点検要領

+ 安全への第一歩・作業開始前には必ず点検を! バッテリー式フォークリフト (カウンタータイプ)

外まわりの点検

■点検前の確認事項

- ア) 平坦な場所に停車。
- イ) パーキングブレーキをかける。
- ウ) フォークは床面まで下げる。
- エ) キースイッチOFF。

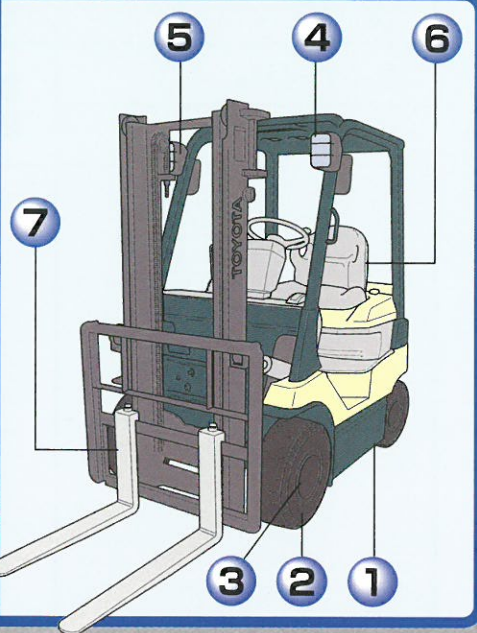
〈準備品〉

- タイヤ空気圧計
- ハブナットレンチ
- ウエス

1 油漏れ

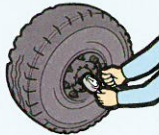


目視



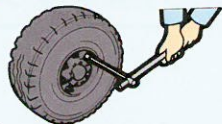
2

タイヤ、リム



空気圧、損傷、亀裂、摩耗

3 ハブナット



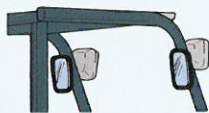
緩み

4 ランプ



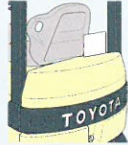
球切れ、レンズの割れ

5 バックミラー



汚れ、破損、角度

6 ナンバープレート



汚れ、損傷

7

フォーク、バックレスト



損傷、曲がり、緩み、チェーンの張り

車上での点検

1 荷役装置



作動具合、油漏れ

2 作動油



油量

3 ブレーキフルード



液量、漏れ

4 ブレーキペダル



遊び、効き

5 パーキングブレーキ



レバーの操作力、効き

6 各計器



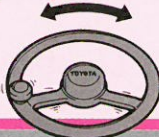
各計器の作動

7 バッテリー容量計



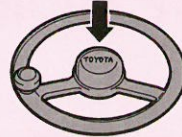
残量

8 ステアリングホイール

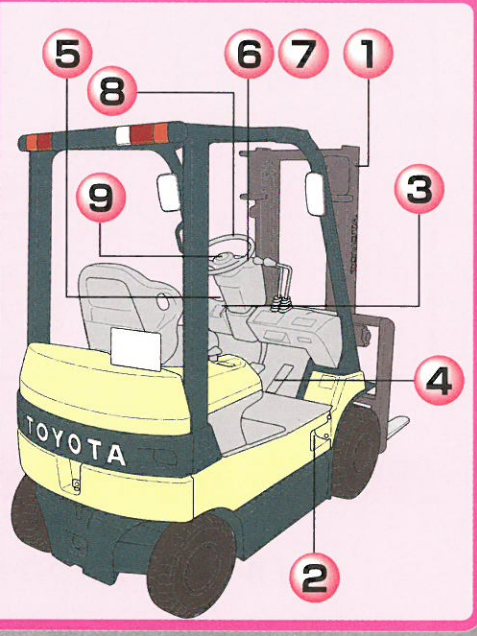


遊び、ガタ

9 ホーンボタン

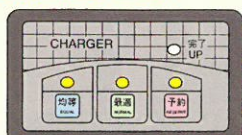


音量



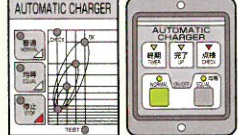
充電器の点検

1 車載型充電器

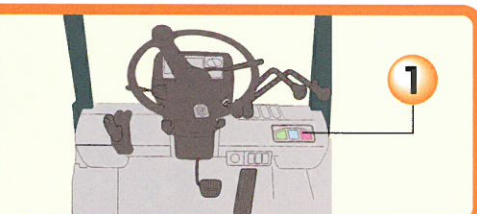


作動

2 別置型充電器



作動



1

※点検要領の詳細については裏面の「作業開始前点検要領」をご覧ください。



注意

- 油圧システムの油温が高いとき、熱いガスが噴き出す危険がありますから、必ず内圧を逃がしてから点検してください。
- 〈内圧の逃がし方〉
1. フォークを地面に降ろす。2. キースイッチをOFFにする。
3. 操作レバーを2〜3回動かす。
4. キャップをはずすときは、ゆっくりまわす。
- タイヤ空気圧は指定以上に上げないでください。
- 小さな故障も重大な事故の原因となります。少しでも異常が感じられる車両は、管理者に報告し、修理が完了するまでは、絶対に運転しないでください。

●お問い合わせ先

始業点検、安全運転講習会、その他ご要望等お気軽にご用命下さい。

TOYOTA L&F

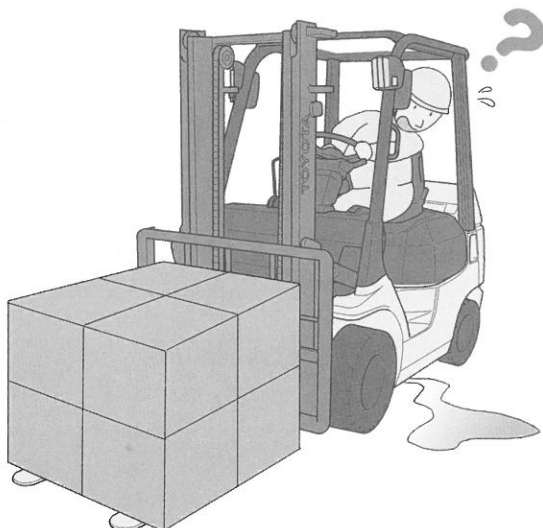
作業開始前点検要領

バッテリー式フォークリフト（カウンタータイプ）

項目	判定基準
タイヤ・リム ハブナット	指定空気圧・ハブナットの締め付けトルクは車種によって異なりますので取扱説明書のサービスデータを参照してください。
作動油	
ブレーキフルード	上面より5mm以上
ブレーキペダル	遊び5~9mm
	踏み残り代 71mm以上（踏力 約30kg時）

作業開始前点検を怠ると次の様な事故の危険性があります。

オイルの点検はしっかりと



ブレーキの点検を怠ると



月度作業開始前点検チェックシート

担当者	
機台	
フレームNo.	



品番：17020500

(バッテリー式フォークリフト カウンタータイプ)

○：良好
×：要整備 →調整後 ⊗

点検部位		点検項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
外まわり	1 油漏れ	車両を止めていた地面に油の漏れたあとはないか	目視																																	
	2 タイヤ、リム	空気圧を測定し、指定空気圧に調整してあるか	()																																	
		調整後にバルブからの空気の漏れはないか	目視																																	
		タイヤの損傷、タイヤの摩耗、リムの曲がりはないか	目視																																	
	3 ハブナット	ハブナットの締め付け具合はよいか	()																																	
	4 ランプ	各ランプの球切れ、レンズの割れ・汚れはないか	目視																																	
	5 バックミラー	破損およびレンズの汚れはないか、角度の調整はよいか	目視																																	
6 ナンバープレート	汚れ・傷つきはないか	目視																																		
7 フォーク バックレスト	フォークの取り付け状態はよいか、亀裂・曲がりはないか	目視																																		
	マストの亀裂はないか、チェーンの張り状態はよいか	目視																																		
	バックレストの曲がり、亀裂、取り付けボルトの緩み、折損はないか	目視																																		
車 上	1 荷役装置	リフトレバーおよびチルトレバーを操作し、作動状態はよいか	作動確認																																	
		シリンダー、配管からの油漏れはないか	目視																																	
	2 作動油	作動油の量はよいか	()																																	
	3 ブレーキフルード	ブレーキフルードの量はよいか	-5mm以内																																	
		4 ブレーキペダル	ペダルを強く踏み込んで、踏み残り代(ペダルとの隙間)はよいか	71mm以上																																
			ペダルを踏みつづけた時、ペダルが更に入り込むことはないか	作動確認																																
		ペダルの戻り具合はよいか	作動確認																																	
		ペダルを手で抵抗を感じるまで押した時、遊び量はよいか	5~9mm																																	
	5 パーキングブレーキ	パーキングブレーキレバーを操作した時、操作力はよいか	作動確認																																	
6 各計器	キースイッチをONにして、正常に作動するか	作動確認																																		
7 バッテリー容量計	バッテリー容量計でバッテリーが十分充電されているか	目視																																		
8 ステアリングホイール	リヤホイールを直進状態にして、ホイールの遊びの量はよいか	25~50mm																																		
	ステアリングホイールを上下方向に動かし、ガタはないか	作動確認																																		
9 ホーンボタン																																				
充 電 器	1 車載型充電器	充電スイッチを押した時、充電を開始するか。予約充電を選択して予約充電スイッチを押した時一旦充電を開始するか	作動確認																																	
		充電開始と同時に最適ランプ・均等ランプ・予約ランプのいずれかが点灯しているか	目視																																	
		充電終了後、ディスプレイのバッテリー容量計が全数点灯し、チャージャーパネルの完了ランプが点灯しているか	目視																																	
		チャージャーパネルの完了ランプは点滅していないか。ディスプレイに異常表示(ダイアグノーシス)していないか	目視																																	
	2 別置型充電器	普通または均等充電スイッチを押した時、充電を開始するか	作動確認																																	
充電終了後は終期ランプが消灯し、完了ランプが点灯しているか		目視																																		
点検ランプが点灯していないか		目視																																		
〈注〉			点検者																																	
(1) 点検者は技能講習修了者とする。			取扱責任者																																	
(2) 取扱責任者は点検者の上位とし、10日に1回以上実施状況を確認する。																																				
(3) 点検者、取扱責任者の欄には氏名を記入する。																																				

備 考	